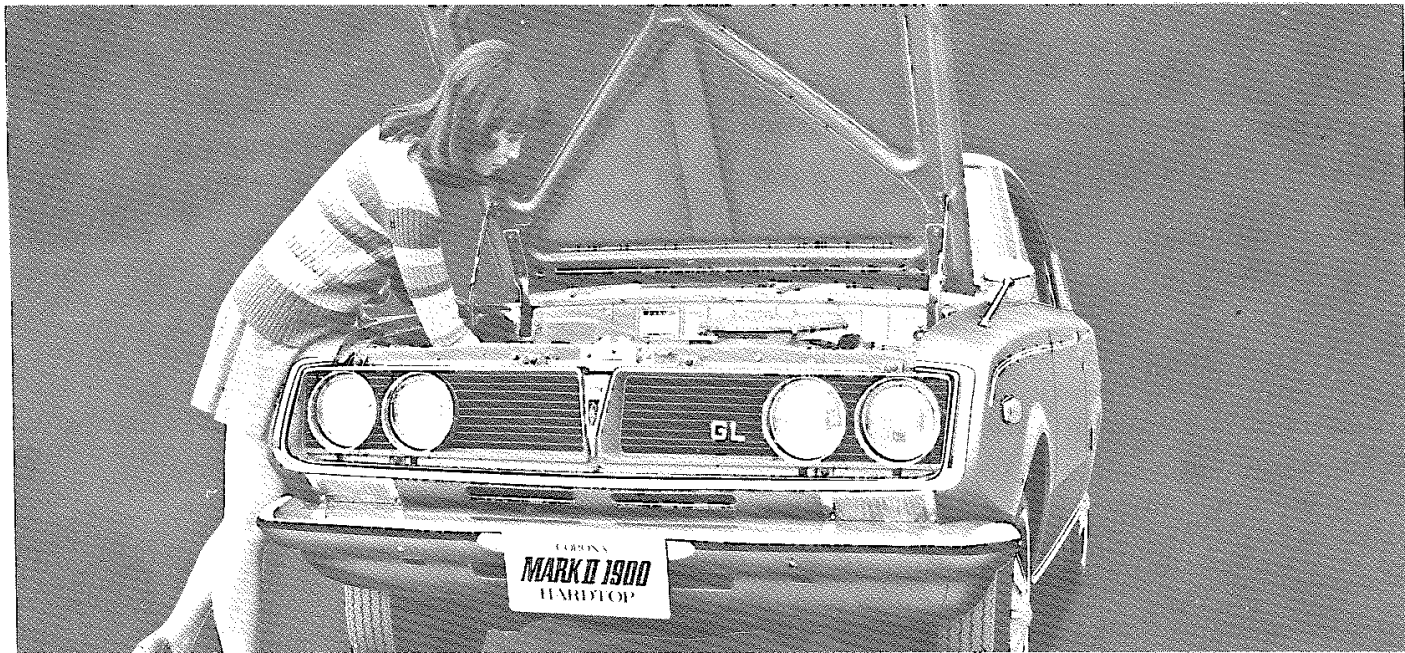


お出かけ前の点検

CORONA **MARK II 1700** HARDTOP / **1900** HARDTOP

あなたのコロナ・MARK II をいつも快適にご使用していただくために、お出かけ前に次のことを点検してください。



■ 仕業点検

項 目	点 検 内 容
異状箇所	前回の悪かった所はないか。
車のかたむき	前・後輪のスプリングに損傷はないか。
タイヤ	空気圧は適当か。異常摩耗(残り溝1.6mm), 損傷はないか。
エンジン	エンジン・オイルは規定量はいつているか。 異音は出ていないか。排気の状態は正常か。
ラジエーター	冷却水は規定量はいつているか。
バッテリー	バッテリー液は規定量はいつているか。
ブレーキ	踏み残り代 踏み込んだときの床とのすきまは55mm以上か 遊 び 0.5～5mmあるか。 液 量 規定量はいつているか。
パーキング・ブレーキ	引き代は適当か。13ノッチ以内残り(9ノッチ)。
ステアリング・ホイール	ゆるみ、ガタはないか。遊びはハンドル円周上で50mm以内 異常に振れたり、とられたり、重くないか。
各ランプ類	各々のランプは点灯するか。
各計器類	作動はよいか。
ホーン	鳴るかどうか。
ワイパー	作動は良いか。
ミラー	後方がよく確認できるか。
ライセンス・プレート	汚れ、損傷はないか。

この中には、道路運送車輛法によりドライバーに義務づけられた仕業点検項目が含まれています。

お出かけ前にこれだけはぜひ!!

どなたでも車を一回りすれば気軽にしかも容易に点検ができます。

点検はムダを省き手順よく行のがコツ、

①→②→③を順に行ってください。

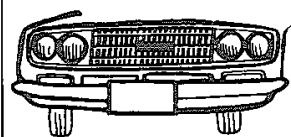
1. まずエンジン、フードを開けて
オイルと水の点検……………①
2. 次に運転席に座って、エンジン始動
各計器類を点検し、ウォーム・アップさせながらハンドル、ブレーキなどを点検……………②
3. ヘッド・ランプをつけて車を出て、周囲を1回りする間に
タイヤ、ランプ類、オイル漏れなどを点検……………③～⑤
4. 再び運転席に乗り出発前に除行させながら速度計や、ハンドル、ブレーキの作動を点検……………⑥

④車の下をのぞいて



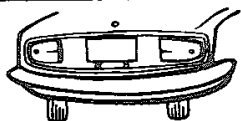
- エンジン・オイル洩れ
- トランスミッション・オイル洩れ
- ディファレンシャル・オイル洩れ
- ブレーキ配管オイル洩れ
- ラジエータ水洩れ
- バネの折損

③車の前から



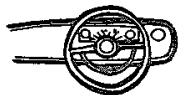
- ヘッド・ランプ点灯
- パーキング・ランプ点灯
- ライセンス・プレートの汚れ
- タイヤ空気圧、傷、摩耗

⑤車の後から



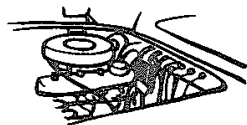
- テール・ランプ点灯
- ライセンス・プレートの汚れ
- 排気ガスの色
- タイヤ空気圧、傷、摩耗
- ストップ・ランプの点灯
- バック・ランプの点灯

⑥徐行しながら



- ゲージ類、速度計
- ハンドルの重さ
- ブレーキの効き

①まずエンジンフードを開けて



- エンジン・オイル量・質
- ブレーキ・フルード量・質
- クラッチ・フルード量・質
- 冷却水量・質

②運転席に座って



- 燃料計（ガソリン残量）
- 充電計、油圧計
- ターン・シグナルランプの点滅
- ハンドルの遊びがた
- ブレーキ・ペダルの遊び残り代
- ワイパー、ホーン作動
- リヤ・ビュー・ミラー写影



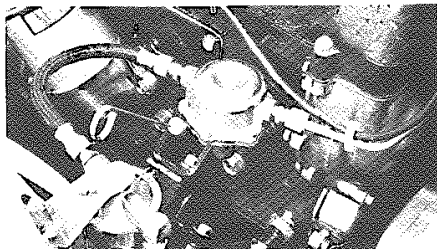
(以上のほかにテールランプ、ブレーキランプバックランプの点灯の確認をしてください。)

■ 高速走行前の点検

項目	点検内容
タイヤ	石、釘その他の異物はないか。
エンジン・オイル	汚れていないか。
ラジエーター	水漏れ、フィン間にごみなどつまりはないか。
ブレーキ	走行してブレーキの片まききはないか。 ブレーキ・チューブおよびホースと他の部分の接触、損傷、取り付けにゆるみはないか。
ハンドル	走行してハンドルが振れたり、取られたり、または重かったりしないか。
ファン・ベルト	ファン・ベルトの張りは適正であるか。 損傷はないか。
ガソリン	目的地まで走行するのに十分はいつているか。

エンジン・ルーム内の点検

① エンジン・オイルの点検・補給



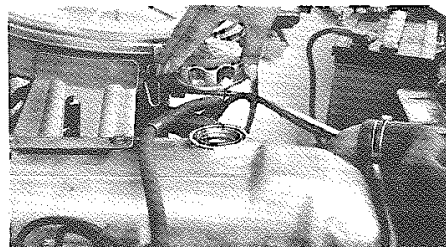
エンジン・オイルの点検……レベル・ゲージを抜いて、きれいな布などでふき、次にレベル・ゲージを元の穴へいっぱい差しこんで静かに抜き出してください。このとき、先端についたオイルの位置を讀んでください。

オイルがFとLとの間にあれば良く、L以下のときはFまで補給してください。オイルの汚れや変色の著しい場合は、交換してください。

エンジン・オイル……………4.1ℓ

《注意》

エンジン停止直後に、エンジン・オイルの点検をしますと、正確な量を読み取ることができませんので、3分以上たってから点検してください。



エンジン・オイルの補給……キャップは左にまわしてははずします。エンジン・オイルは、キャッスル・モーター・オイル・スペシャル以上をお使いください。

《注意》

1. オイルを補給したあと、どれだけあるか必ずオイル・レベル・ゲージで確認してください。
2. オイルはできる限り同じ銘柄のものを補給してください。